

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
大仙公園日本庭園	
(2) 施設の設置目的	
市民に憩いの場を提供するとともに文化を創造し、もって公共の福祉の増進に資するため	
(3) 所管部局	
建設局 公園緑地部 大仙公園事務所	
(4) 指定管理者名	
南海・大阪造園共同企業体 (南海造園土木株式会社、大阪造園土木株式会社)	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
・ 入園料及び和室使用料の徴収、入場者の応接、券売業務、自主事業の計画・実施、使用許可事務 ・ 園内の施設・設備・樹木の維持管理に必要な維持管理・保守点検・清掃・警備業務等 ・ 大規模な改修及び建築物の躯体部分の補修を除いた園内施設・設備等の補修等	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
産業・基盤施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
対象者特定無	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・安全の維持と事故防止のために日常的に施設点検を行い、発見された異常箇所については早期修繕の対応を行っている。 ・インターネットにつながるパソコンと情報処理用のパソコンを使い分けることで不慮の情報流出を防いでいる。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・繁忙期やイベント開催等で通常より人員を要するときは、シルバー従業員の増員及び構成団体各社からの担当者派遣により体制を整えた。また、職員研修については新型コロナウイルス感染状況に鑑み一部は自席学習で行った。 ・以前から池の水質が課題となっていたため、池泉の大規模清掃を行った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	・感染対策を十分にした上で屋外でのイベントやパネル展示を実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一部の自主事業及びイベントを中止した。
その他特筆すべき取組	・新型コロナウイルス感染拡大防止の取組として、入退場口の分離、来園者同士のソーシャルディスタンスの確保、定期的な園内放送による注意喚起等を行っている。

イ 市による状況分析

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密や飛沫感染防止などを徹底し、来園者の受入体制を整えた。
- ・池泉の大規模清掃や質の高い植栽管理、早期修繕対応等、利用者満足度の向上につながる適正な管理運営を行った。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
指定管理者名	南海・田中・大阪造園共同企業体	南海・田中・大阪造園共同企業体	南海・大阪造園共同企業体	南海・大阪造園共同企業体	南海・大阪造園共同企業体
利用者数(単位:人)	101,907	87,752	86,371	72,131	—
稼働率(単位:%)	—	—	—	—	—
利用者満足度(単位:%)	87.0	81.0	86.0	86.0	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	・呈茶について期間限定メニューを追加するなど、市民サービスの向上を図った。
意見・苦情・要望等への対応	・職員が常に利用者の意見等を受け付ける体制をとっている。また、利用者の意見を反映させるために計画的にアンケートを実施した。 ・令和2年度中に要望(苦情)等が1件あったが、速やかに現地確認し、施設の不具合を解消した。
その他特筆すべき取組	・より良い庭園管理、従業員の対応をめざし、常に来園者の目線に立って考えるようにしている。 ・広報や情報提供についての満足度向上のため、開花状況やイベント等の情報を積極的に発信した。門前掲示、広報さかいやHPの掲載、情報発信ツールを活用し、幅広い年代への発信を心掛けている。

ウ 市による状況分析

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月1日から6月14日まで施設の全部又は一部の供用を休止した影響で令和元年度より利用者数が減少している。
- ・積極的に情報発信を行っているものの、常設アンケートの広報活動の項目における利用者満足度が低いため、引き続き改善策を検討していく必要がある。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
指定管理者名		南海・田中・大阪造園共同企業体	南海・田中・大阪造園共同企業体	南海・大阪造園共同企業体	南海・大阪造園共同企業体	南海・大阪造園共同企業体
収入	指定管理料	48,700,000	48,400,000	52,372,986	54,671,832	52,124,000
	利用料金	17,554,302	18,871,727	18,893,942	15,342,651	19,000,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	7,774,158	6,582,664	6,698,698	5,195,292	6,850,000
合 計		74,028,460	73,854,391	77,965,626	75,209,775	77,974,000
支出	人件費	28,035,000	28,650,000	30,737,400	30,562,750	33,150,000
	委託料	11,353,848	10,904,549	12,273,698	12,005,829	12,575,000
	総支出額に占める 委託料の割合	16.8%	16.0%	16.7%	16.3%	16.4%
	修繕費	938,720	1,805,544	4,794,507	2,402,400	3,000,000
	光熱水費	7,788,563	7,281,357	5,411,924	7,456,287	6,050,000
	その他	19,642,672	19,303,601	20,339,915	21,010,960	22,050,000
合 計		67,758,803	67,945,051	73,557,444	73,438,226	76,825,000
収支差額		6,269,657	5,909,340	4,408,182	1,771,549	1,149,000
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
収 入	1,302,120	1,163,797	2,649,804	463,318	2,073,000
支 出	3,321,437	3,682,715	7,192,705	756,696	3,860,000
収支差額	-2,019,317	-2,518,918	-4,542,901	-293,378	-1,787,000
(市への納付金の額)	—	—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	・節水、節電に努め、物品購入等にはリサイクル品や複数見積もりの徴収などの工夫に取り組んだ。また、業務に関しては可能な限り直営で行っている。 ・指定管理料には市の休園等指示により、令和2年度の利用料金等相当分として市が支払った3,145,266円を含む。
------------	---

ウ 市による状況分析

自主事業における収支状況について、ほとんどの自主事業が赤字を前提とした市民サービスの一環として実施しているため収支差額がマイナスになる傾向があるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響で多くの自主事業が中止となったため、収支差額のマイナス幅が小さくなっている。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
利用者数	9万人以上/年	72,131人
自主事業開催回数	10回以上/年	9回

■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
アンケート調査における利用者の満足度(大変良い、良いの合計)	90%以上/年	86%

■収支

指標	目標	実績
利用料金収入	1500万円以上/年	15,342,651円

イ 市による状況分析

利用者数、自主事業回数はともに新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、目標に達しなかった。アンケート調査では、庭園の手入れと従業員対応の項目が97%と適切な管理を行えていることが分かる。一方で、広報活動や情報提供に関する項目が低いため、全体の利用者満足度が低くなっている。利用料金収入については、新型コロナウイルスの影響を受けながらも目標を達している。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	A	B
評価の理由	新型コロナウイルスの影響を受けながらも、利用料金収入については目標設定を達成し、利用者数実績72,131人は健闘した数字だと考えられる。前年より年間入園券利用入園者数が約36%増、発行枚数が約27%増となり、利用者にとって再度訪れたい価値ある庭園と捉えていただけていると考えられる。また、池泉の大規模清掃を行い、水質改善にも取り組み、利用者の満足度向上のために日々努力している。	・新型コロナウイルスによる休園期間があったにも関わらず、来園者数や自主事業の回数は市が設定している目標の8割以上に達した。自粛生活が続く市民にとっての憩いの場として一定のニーズがあったと伺える。また、自主事業は感染対策を行い、可能な限り実施することができた。 ・広報活動に関する利用者満足度が例年と同様低い結果であり、改善したとは言い難い。
今後の取組	コロナ禍であってもニーズが高まる屋外施設であることを活かし、感染拡大防止対策に取り組み、利用者増につなげていきたい。課題である広報や情報提供についての満足度向上のため、直接的な方法と間接的な方法の組み合わせによる情報の提供に努める。発信する情報の量と質を高め、コンスタントに更新し、新規利用者の獲得へつなげたい。	引き続き、新型コロナウイルス対策に努めつつ、コロナ禍であっても新規利用者獲得や利用者の満足度向上につながる取組を期待する。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの